

国民民主

KOKUMIN MINSHU PRESS

国民民主党 国民民主プレス 編集部

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-3Nagatacho GRID 4F
TEL : 03-3593-6229 MAIL : info@new-kokumin.jp H P : new-kokumin.jp

こくみんみんしゅ
Press

号外

2026年SPRING

【連絡先】国民民主党茨城県第5区総支部(浅野さとし事務所)

国会事務所

〒100-8981
東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館406号室
TEL : 03-3508-7231
FAX : 03-3508-3231

日立事務所

〒317-0071
茨城県日立市鹿島町1-11-13
TEL : 0294-21-5522
FAX : 0294-21-3014

公式サイト

<https://asanosatoshi.com/>



衆議院議員

浅野さとし

日立市長

小川春樹

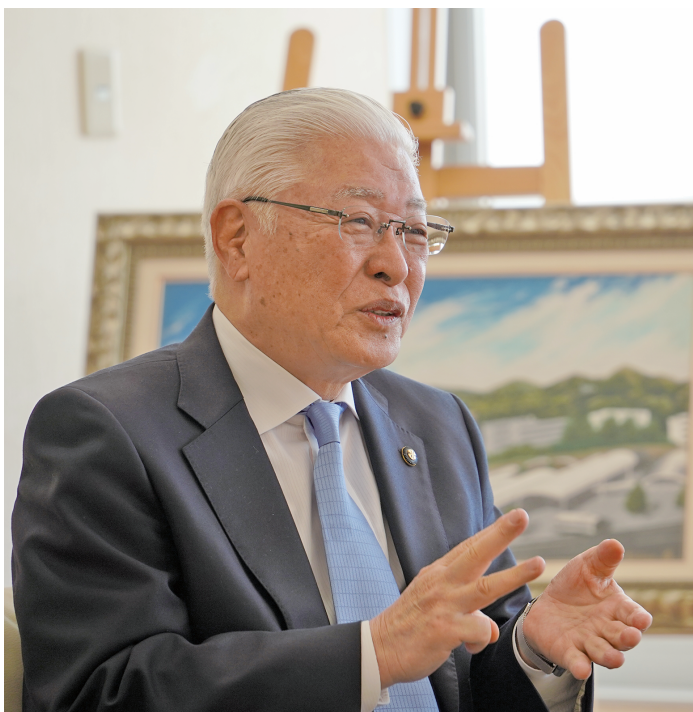
皆様が将来に希望を持てる 日立市の確かな道筋を 描きたい



2026年特別企画として、本年も小川春樹 日立市長との特別対談を実施させていただきました。対談では、物価高対策、日立市の将来、日立市が果たすべき役割等について取り組んだ2025年を振り返り、今後のまちづくりの展望についての思いを語っていただきました。



小川市長の政策や活動等はこちらより確認できます



2025年を振り返り思いを語る

2025年度の振り返り

**未来に向けた持続可能なまちづくりを
着実に前進させることができた**

浅野衆議院議員（以下、浅野） 日立市は2025年度、デジタル技術の活用と共創活動の推進を通じて新しい時代のまちづくりをすすめる「次世代未来都市 共創プロジェクト」がいよいよ本格的に動き出し、新しいまちづくりの形が見えてきた一年でした。同時に、全国的な課題である「バス運転手の確保」に向けた独自の支援策など、市民の生活を守るための攻めの施策も印象的でした。のちほど詳しく伺いますが、この「共創」の動きを含め、日立市が新たなステージへと踏み出した2025年度を振り返り、市長が今、手応えを感じていることは何でしょうか。

小川日立市長（以下、小川） 浅野先生におかれましては、このたびの衆議院総選挙において、短期決戦の中、見事4回目のご当選を果たされましたことに、心よりお祝い申し上げます。さらに、国民民主党の幹事長代行兼組織委員長という重責を担われ、党の中核としてご活躍されておりますことを、大変心強く感じております。

さて、昨年は、市民・企業・行政が力を合わせて取り組む「共創」を礎に、未来に向けた持続可能なまちづくりを着実に前進させることができた一年であったと感じております。

とりわけ、昨年4月には株式会社日立製作所の社長に本市出身の徳永俊昭氏が就任され、共創プロジェク

トも本格始動から2年目を迎える中で、事業そのものに大きな弾みをいただけたと思っています。具体的には、小児オンライン医療サービスの開始や、次世代モビリティである電動キックボードの実証など、スマートシティの実現に向けた取組が着実に進んでおります。

さらに、ひたちBRT専用道を活用した国内初となる中型バスによる自動運転レベル4の営業運行を実現するとともに、大甕駅周辺の一般道路における自動運転バスの実証走行にも取り組み、将来の路線バス自動運転の実現に向けた大きな一歩であると認識しております。

こうした取組を進めることができたのも、市民の皆様をはじめ多くの関係者の皆様のご理解とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

当面の物価高対策と県内経済の成長にむけて

**「スマート産業団地」の事業化を
めざす取組を進めていく**

浅野 日立市においても、物価高は市民生活や地域経済に重い負担となっています。日立市ではスピード感を持った生活防衛策を展開することを聞いていますが、その内容について教えてください。また、将来的な成長産業を作り出すために現在進められている「共創プロジェクト」は、企業の枠を超えた連携や新ビジネスの創出も目的としています。これが単なる実証実験に終わらず、地元の雇用をつくり、市全体の所得向上につながる経済成長のエンジンとして機能していくために、小川市長が思い描いているビジョンについて教えてください。

小川 物価高騰が長期化する中、本市では市民の皆様へ一日も早く支援をお届けする観点から、令和8年1月に臨時議会を開催し、市内で利用できる商品券5,000円分を全市民に配布することといたしました。また、65歳以上の単身高齢者の方々には、より一層の配慮が必要であることから、5,000円分を上乗せして配布し、生活を下支えするとともに、市内消費を促し、地域内経済の循環への効果も期待しております。

さらに、省エネ家電への買換え補助や高齢者タクシー助成の拡充、飲食店への支援、中小企業の省エネやDXへの支援など、暮らしと地域経済の双方を下支えする施策を着実に進めてまいります。

また、今年度は、共創プロジェクトの本格始動から3年目となります。企業と行政が互いの知見や技術を持ち寄りながら、スマートシティひたちの実現に向け、共に進めていく重要な取組であり、今後は日立市と日立製作所のみならず、多様なステークホルダーと

連携し、挑戦するフェーズだと思っております。

産業創出や雇用に関わる取組の一例としましては、テーマの一つである「グリーン産業都市の構築」の中で、経済成長のエンジンとなるべく、デジタルとグリーンを成長の原動力として、GXを実現する「スマート産業団地」の事業化をめざす取組を進めていきたいと考えております。

広域的視点から見た日立市の役割

茨城県全体の活力の創出に貢献してまいりたい

浅野 日立市は、日本を代表する企業城下町として発展し、茨城県北地域の経済を長年牽引してきました。近年では産業構造の変化も激しいですが、日立市が培ってきた「高度な技術力」と「人材」は、依然として県内、ひいては日本の製造業にとってかけがえのない財産です。県北の中核都市として、また日本の「ものづくりの聖地」として、日立市は今後どのような役割を果たしていくべきだとお考えでしょうか。また、他都市にはない「日立市にしかできない貢献」があるとなれば、それは何だと捉えていらっしゃるでしょうか。

小川 本市の「ものづくり」は、明治時代以来、鉦工業を中心とした産業の形成を端緒として、先人たちの英知と努力により育まれ蓄積された、地域の誇り・宝であり、「ひたちらしさ」の象徴でもあります。

現在でも、本市は県北地域の中心都市として、多くの働く場所を提供しており、周辺市町村から毎日、約24,000人もの方が仕事のため、お越しになっています。

しかしながら、近年の産業構造の変化やグローバル化等に対応した大手企業の再編など、ものづくり産業をとり巻く環境は、一層の厳しさを増しています。

これまで本市を支え続けてきた、ものづくり産業の停滞は、地域経済やまちのにぎわいにも影響すると懸念され、本市や県北地域における、その持続的発展は、欠かすことができないものであると捉えています。

そのため、日立地区産業支援センターなどの支援機関との一層の連携を図りながら、ものづくり技術のノウハウを継承しつつ、「デジタル化」や「脱炭素化」について強力に推進していくことが必要であると考えています。

その中で、新たなビジネスチャンスにつながる稼ぐ力や経営基盤を強化することで、更なる産業の振興、雇用の創出をめざすとともに、もって本市を産業都市として発展させ、ひいては、茨城県全体の活力の創出に貢献してまいりたいと思っております。



第51回衆議院
総選挙中、
小川市長の応援演説

国民民主党・浅野議員に期待すること

国民生活に直結する課題について 現場の声を届けていただきたい

浅野 今年の2月に施行された第51回衆議院総選挙を終えて、私自身は4期目とさせていただきました。選挙の際には応援をいただき誠にありがとうございました！一方で、永田町の景色は一変しました。衆議院では自民党単独で3分の2を超える316議席を有するまでに大きくなり、多くの野党が議席数を減らす中、国民民主党は現有勢力を堅持したことで、国会での役割が一層大きくなっています。これからの国民民主党に期待すること、そして、私に対するご意見があれば是非お聞かせください。

小川 永田町の情勢が大きく変化する中で、国民民主党が果たすべき役割は、ますます大きくなっているものと感じております。

ガソリン暫定税率の廃止の実現をはじめ、「年収の壁」という長年の課題に風穴を開け、働く世代の「手取りを増やす」政策を力強く推進されていることに大きな期待を寄せております。

本市においては、国に先駆けて、小・中学校の給食費の完全無償化、0歳から2歳児までの第2子保育料

の無償化、さらには18歳未満の医療費の完全無償化など、子育て世帯の経済的負担の軽減に独自に取り組んでまいりました。

本格的な人口減少・少子高齢社会を迎える中で、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりは、まさに待ったなしの課題であります。国においては、本年4月から小学校の給食費無償化が実施される予定と伺っておりますが、早期に中学校段階まで拡大されるとともに、保育料や医療費の無償化など、国の未来を担う子どもたちへの支援が更に充実することを期待しております。

今後とも、物価高への対応や地方経済の活性化、子育て・福祉施策の充実など、国民生活に直結する課題について、現場の声を国政にしっかり届けていただけるように、国民民主党、そして浅野先生の一層のご活躍を心から期待しております。

小川 2026年度は、本市のまちづくりの道標である「総合計画前期基本計画」が最終年度を迎える、まさに集大成の年となります。市民運動公園野球場の竣工をはじめ、最後の駅舎整備となる常陸多賀駅における仮設駅舎工事に着手するなど、未来につながる都市基盤の整備が着実に進んでまいります。

また、先ほども申しましたが、共創プロジェクトは3年目を迎え、昨年12月には市議会に特別委員会を設置いただいたほか、茨城県においても大井川知事の力強い後押しのもと、県職員が本市に駐在するなど、官民が一体となって挑戦する新たなフェーズへと歩みを進めております。

「スマートシティひたち」の実現に向け、「未来に選ばれるまちを目指す」との強い意志のもと、産学官民の連携を更に深めながら、日立市の次代を切り拓く前向きなチャレンジを重ねてまいりたいと考えております。

さらに、本年度は次の5年間を見据えた後期基本計画の策定にも着手する極めて重要な年であります。

「すべては市民のために」「すべては日立市のために」という志のもと、市民の皆様が将来に希望を持てる日立市の確かな道筋を描いてまいりたいと考えております。

2026年度に向けて

日立市の次代を切り拓く
前向きなチャレンジを重ねていく

浅野 2026年度の抱負があれば教えてください。

浅野さとし プロフィール

略歴	1982年9月	生まれ
	2005年3月	青山学院大学工学部卒
	2007年3月	青山学院大学大学院理工学研究科修了
	2007年4月	株式会社日立製作所 日立研究所入社
	2013年8月	日立製作所労働組合研究所支部執行委員
	2015年9月	大島章宏衆議院議員秘書
	2017年10月	衆議院議員初当選(第48回衆議院選挙)
	2021年10月	衆議院議員2期目当選(第49回衆議院選挙)
	2024年10月	衆議院議員3期目当選(第50回衆議院選挙)
	2026年2月	衆議院議員4期目当選(第51回衆議院選挙)



日立事務所

〒317-0071 茨城県日立市鹿島町1-11-13
友愛ビル1階
TEL 0294-21-5522
FAX 0294-21-3014
Mail:contact@asanosatoshi.com

ご意見
ご要望

国会事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館406号室
TEL 03-3508-7231
FAX 03-3508-3231
MAIL:contact@asanosatoshi.com

